

HOTEL NEW AWAJI GROUP EDITION

RAKUEN

RELAXATION STYLE

VOLUME 16

美しく、優しい日本の風土
淡路島の原風景を愛でる
島時間の小さな旅へ。

写真家・瓦師の山田脩二さんに、
淡路島の魅力をたずねる。

実りの秋
新作スペシヤリテ。
島の恵みをふんだんに。

ホテルニューアワジグループ
くつろぎスタイル

秋冬号

cover photograph
夢泉景別荘 天原





紅葉と瓦(洲本市五色町結原)



足木にかけられた稲



三野畑(洲本市五色町結原)



瓦屋根の民家(淡路市山田)



阿方の集落(南あわじ市)



秋の棚田(淡路市生田)



鳴門海峡の夕映え(南あわじ市阿那賀)

美しく、優しい日本の風土 淡路島の原風景を愛でる 島時間の小さな旅へ。

写真(風景)
山田脩二

Interview

カメラマンから瓦師に転地・転職・転進される時、全国津々浦々に決められた理由は何？

瓦(いぶし)とは、日本特有の屋根文化の一つです。その瓦だけを特に地場産業として製造している稀有な集落が「津井」です。肥沃な風土(土地)の淡路島は農業も盛んですが、いぶし瓦に適した良質の粘土も島のなだらかな丘陵地に多量に埋蔵されていることを、瓦師に転進する前に調べてありました。思まされた風土の恩恵で豊かな粘土を、他の産地ほど苦勞もなく日常的に採掘している島(瓦屋)さん達は、そこへんの山掘つたらええ土なんぼでも出てきよる。かまへん、べつちやない(大丈夫！という風に話しかけていい)と、大らかで気安い魅力な人柄の瓦師集落「津井」に魅かれました。

特に国生み神話に引き込まれた訳ではありませんが、国生みの地の貴重な土で焼いた瓦は、神秘性のある国生みブランドの『瓦かな』と、瓦屋根の連なる昔ながらの景観はこの国の原風景の一つの象徴ですが、瓦の製造も大量生産の均一的な工業製品ばかりになってしまし、土を焼いた独特の暖かみのある表情や風合いのある瓦がなくなり、淡路島が海れる瓦屋根の風景を残し、寄り添って、独自の魅力ある地場産業の瓦づくりにかかわってゆきたいです。

淡路島を旅する方に、おすすめの風景や場所を教えてください。

淡路島には、あちこちのどこかで牧歌的な優しい風景が広がっています。旅行で訪れたら、手近なところをどことん見て回ってほしいです。

例えば、島の南北のなだらかな丘陵、特に島の北の棚田、各所に点在する味わい深い本瓦葺の民家や土蔵小屋、潮風が心地よい穏やかな海と小さな漁港、東浦海岸から見る大阪湾を照らす朝日、西浦海岸から見る瀬戸内に沈む夕日・夕映え、同じ場所でも日によって、勿論、季節によって、その表情はさまざまです。秋も深まり、山と丘陵の雑木林は少しずつ緑模様(鳥糞緑)に紅葉し、田舎らしくゆつくりと色づき、田んぼには稲が足木にかけられ少し少なくなりましたが、…そんな島時間の風土感を味わってほしい。時間の許す限り、ゆつくりといろんな場所を巡って、何気ない風景の美しさを感じてほしいです。あなご自身の、淡路島特有の島感覚を体感してもらえたら何よりです。風景だけではなく、土蔵・海流・潮流など四季折々の山海の幸に恵まれた食べ物もぜひ。そして、淡路島の風土とともに暮らしている人々の心温むむ々々のんびりとした人柄にもふれる島時間の旅をしてください。

「達磨窯プロジェクト」について教えてください。

いぶし瓦を焼く土の窯「達磨窯」は、江戸中期以降、全国津々浦々にありました。達磨さん(が)昔中合(あ)わせて座つているような姿からこう呼ばれ続けています。こゝ津井地区に半世紀程前までは、200基余りの達磨窯がモクモクと黒煙を上げて、いぶし瓦を焼き、日本一の生産量を誇っていました。私が津井に住み始めた30年前にはまだ、達磨窯は数基、最後の力を振り絞って瓦を焼いていましたが、効率の良い四角い金属製の窯に取って変わり、そのユニークな形の達磨窯はあつという間に消えてなくなり、全国でも当時稼働、焼き続けているのは一基のみとなりました。

土の窯・達磨で薪木・薪を燃料に土を焼成したいぶし瓦特有の味わい深い風合、質感・焼成ムラのある瓦は、金属製で石油(ロパンガス)を燃料に焼成した工業製品の表情が均一な瓦とは、味違います。この国特有の瓦屋根の景観を残すために達磨窯の復活を提言し続け、特にマスコミの報道で瓦の原産地が流れた阪神・淡路大震災後、達磨窯によって瓦づくりの原点を見つめ直そうといわれ続けたのですが、全く相手にされませんでした。達磨窯の火が消えることは、いぶし瓦の屋根の文化が消えてゆくことです。大変かもしませんが、達磨さんが被災を脱いでしまつては困ります。日本の景観の危機！と言つても過言ではありません。2008年秋、達磨窯プロジェクト「薪」を立ち上げ、津井地区の瓦職人を中心に多くの人の協力を得て、遂に築窯し、モクモクと黒煙を上げながら50回近くの大窯焚きを経てきました。私の想いに共感してくる若い世代も多く、彼らが今後次々と達磨窯を造り、瓦の伝統技術や文化を継承していければと願つています。それが淡路瓦の未来につながる。多くの人に愛される淡路島特有の美しく、優しい風土と島時間を守ることと思っています。

淡路島の魅力をたずねる。

写真家・瓦師の山田脩二さんに、

美しく、優しい日本の風土
淡路島の原風景を愛でる
島時間の小さな旅へ。



山田脩二(やまだしゅうじ)

1939年、兵庫県淡路市出身。1960年、染織デザイン研究所修了後、株式会社印刷前入社。1962年フリーマガジン「メタラフ」になり、建築・美術などの作品を撮つて、日本各地を旅して集落・村町・都市などを撮影。数多くのメディアから注目を集める。1987年、職業作家として専ら写真とし、淡路島の瓦生産地帯津井で粘土の製成に専事、瓦師カラワマンとなる。2008年、達磨窯を築窯して専ら。

●主な展覧会 1974年現代日本15の写真家展(国立近代美術館)、2006年山田脩二の撮る写真(瓦屋根)展(淡路市立美術館)、日本写真賞 山田脩二 日本写真90年展(青森県立美術館)、日本写真賞 山田脩二 日本写真90年展(青森県立美術館)、山田脩二 1日旅46(12/10)写真展(奈良市)



青海波ピラミッドのモニュメント(南あわじ市松帆西路)



粘土山の採掘場(南あわじ市松帆慶野)



本瓦ぶきの玉恵小屋



津屋(南あわじ市津井)



昔、「達磨窯」で焼いた瓦小屋の瓦屋根



海と瓦のオブジェ(南あわじ市津井)

新実りの秋

島の恵みをふんだんに

伊勢海老のピヤベース



美食の楽園

古代から平安時代まで、淡路島は、御食料の恵まれた地として皇室や朝廷へ海産物などの食材を献上しており、若狭・志摩と並び「御食国みつけくに」と呼ばれていました。古事記の仁徳天皇の頃は、巨大淡路島の寒水を酌みて、大御水飲りき」とあり、日々飲む水までもが淡路島から朝廷に運ばれていたほど。そんな美食の楽園、淡路島で豊饒の秋を存分に楽しみませんか。

秋を食べ尽くす

秋はなんといっても、ふりぶりの身と極上の甘みを持つ伊勢海老、身はもちろん、絶品蟹味噌がたっぷりわたたり蟹脂がのり、春の桜鯛に劣らない美味しさと称される「紅葉鯛」などがおすすすめ。伊勢海老やわたり蟹は、旬の秋野菜とともに旨みたっぷり濃厚ピヤベースで、魚介と野菜の美味しさが凝縮され、えも言われぬ深いコクと味わい。「紅葉鯛」は定番の煮つけや蒲造りの他、創作フレンチなどいろいろなスタイルで、秋を食べ尽くしていただけます。

ブランド食材

また、淡路牛も島のブランド食材。神戸牛や松坂牛の素牛である淡路牛は、筋繊維が細かく、サシが入りやすく、熱を加えるととろける舌ざわりと評判。シミュレーション、熟した炭石の上で肉を焼く石焼きステーキがおすすすめ。表面は焼き色がつき香ばしく、頬張るとジューシーな肉汁が口いっぱい広がります。牛肉本来の美味しさを実感していただけるはず。

至福の味わい

季節野菜といっしょにいただく淡路牛のすき焼きやしゃぶしゃぶもこれまた絶品。さつまいも、松茸、キャベツ、レタス、ブロッコリーなど肥沃な土地と味と香りと降り注ぐ夏の太陽で育てられた秋野菜は、味が濃く、フレッシュな甘みが感じられます。淡路牛とは、ハイモニーを存分にご堪能ください。お食事のシメには、新米の土鍋炊きたてごはんを。ツヤがあつてモチモチ、ほんのり甘いふくよかな香りは、きぬひかり米ならでは。島の恵みいっぱい、秋の新作料理は、まさにこの季節だけの至福の味わいです。



淡路牛



島の幸のプティオードブル



きぬひかり米



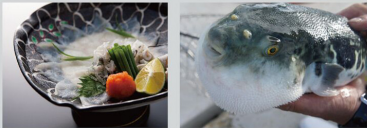
紅葉鯛



お待たせしました
「淡路島3年とらふぐ」
11月よりスタート!

島グルメ ジャーナル

通常2年のところを3年かけて育てる淡路島のブランド食材「淡路島3年とらふぐ」。3年物になると肉厚で天然物に劣らないほど身が締まり、味わいも濃厚。生け簀がある福良湾は、水温が低く、日本一潮の流れが速い鳴門海峡のそばという恵まれた自然環境により、格別のふぐが育てられます。てっさやてっちり、焼きふぐ、白子など…ぜひ、このブランドふぐを味わいに、淡路島へお越しください。



Autumn & Winter Gourmet Plans



酒の莊花季
【秋限定】
紅葉鯛姿造りと宝菜焼スペシャル

その勇壮な姿や上品な味などで、古くから魚の王様として日本人に親しまれてきた真鯛「紅葉鯛」と呼ばれる秋の真鯛を姿造りや鮎・伊勢海老が入った淡路島名物「宝菜焼」などの、素材の味をいっそう引き立てる紅葉鯛スペシャルメニューでお楽しみいただけます。

料金 大人1名様19,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



夢海遊 淡路島

【四季彩ダイニング「浜房」】
秋の真鯛と淡路牛ステーキを
味わう創作会席

冬に備えて脂が十分にのった真鯛は秋の深まりとともに山々を紅く染める紅葉に例えられ、紅葉鯛とも呼ばれる。真鯛の上品な味わいと食感を淡路牛ステーキや新鮮な秋野菜と共に楽しんでください。

特典① トリートメントス(白)1名10%オフで利用可能
特典② ホテルオリジナルお茶10%オフで利用可能
料金 大人1名様18,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



淡路夢泉亭

【福良港直送】
淡路島3年とらふぐの
丸ごと1本喰いプラン

淡路島の冬の味覚、淡路島3年とらふぐを2名様で丸ごと1本お楽しみいただける「1本喰い」コースをご用意。少し厚めに引いた充分な量のてっさをはじめ、焼物・揚物・醬料りに至るまで「通常のふぐコースでは物足りない、満足できない」というお客様にお勧めしたいコースです。

料金 大人1名様25,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



ホテルニューアワジ

【極上の味わい】
旨みと食感を愉しむ
淡路島3年とらふぐづくし

淡路島3年とらふぐをフルコースで愉しめる人気メニュー。淡泊ながらも底知れない旨みを持った淡路島3年とらふぐの身肉をてっさ(薄造り)やてっちり(ふぐちり鍋)、唐揚げ、そして牛の雑炊などに「旨み」というお客様にお勧めしたいコースです。

料金 大人1名様23,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

秋冬の新作スペシャルティが愉しめるホテルダイニング



NEW

あわじ浜離宮 - 旬房 新淡 -
秋のシヨベリコール ～Yubae～
伊勢海老の和風ピヤベース仕立て、
淡路牛と旬の魚介類

かつて御食国と称えられた淡路島の風土を守り、豊かな経験や技術が地産の恵みを育み続けています。季節の訪れを告げる旬の食材は、淡路島の、そして島に暮らす人々からのおもてなしです。秋の味覚をふんだんに使用したお食事をご堪能くださいませ。

料金 大人1名様20,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



NEW

海のホテル 島花 - レストラン 海菜美 -
【冬の味覚の饗宴】
淡路産天然猪肉のジビエ鍋と
淡路島3年とらふぐコース

煮込むほどに柔らかく、身体の芯から温まる…獣肉料理の運びにも選ばれた兵庫県の「ご当地料理」ぼた鍋、高花流に、島の手造り味噌に天然の血肉と猪肉で作るデミグラスソースを合わせた、特製スープのジビエ鍋と淡路島3年とらふぐ、山海を堪能できる冬季限定コースです。

料金 大人1名様20,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



NEW

ブラザ淡路島 - 旬房 海菜 -
あなたの好みで選ぶ
「島会席 at シェフズテーブル」
旬房 海菜-KARAKU->

島の厳選食材をプロフィクスタイルで堪能するオープンキッチン「旬房 海菜」、秋冬限定の特製シェフズメニューとして、季節な旨みを持つ淡路牛をすき焼きでお楽しみいただけます。

特典 レイトチェックアウト11:00可能
料金 大人1名様18,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



NEW

夢泉景別荘 天原 - 旬房 淡祝 -
【夢泉景別荘 天原】
専有露天風呂付宿泊プラン・秋

潮風に肌を感じながら湯にたゆたい、海を眺めて過ごす専有露天風呂付客室は、スイート・和洋室・ツインルームなど、お好みのスタイルで、2機のメゾネットヴィラはすくすくまで潜が楽しめるローケーション、スローに奏でられる高時調にきっと心安らぐことでしょう。

料金 大人1名様28,000円～(税込・税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

※上記プランすべて2名様1室1泊4食(お一人様あたり)の価格です。曜日・時期により料金変動します。お席・人数により変動します。ホテルニューアワジグループでは本職職能職能にもさまざまなプランをご用意しております。詳しくは各公式サイトをご覧ください。掲載のプランは季節により変更となる場合がございます。写真の一部はイメージです。

秋冬のおすすめ宿泊プラン

ホテルニューアワジ
島の銘酒「千年一」と
味わう淡路の鮮魚と
山里の幸

全国新酒鑑評会で金賞を受賞した淡路島にある千年一酒造の大吟醸酒「千代の縁」。爽やかな吟香、口いっぱい広がる優雅な味わい。特有の旨味を五味五感で堪能できる銘酒と、地産の海山の幸のマリアージュを。

特典 大吟醸「千代の縁」1瓶(11月～12月限定)

料金 大人1名様24,500円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

淡路夢泉景
【貴切露天or家族風呂&特典付】
行楽の秋～ファミリープラン
DX/OUT11時

選べる貴切風呂で、ご家族水入らずのプライベートなひと時をお過ごしいただけます。海辺の露天風呂「自然からの湯」またはお風呂付きの家族風呂「なごみ湯」。2つのごこだわり貴切風呂からお選びください。

特典1 貴切露天風呂or家族風呂(お風呂利用時)
特典2 温泉施設内温泉風呂or露天風呂の温泉利用時
特典3 特別メニュー(2名以上の予約時)
特典4 特別メニュー(2名以上の予約時)
特典5 レイトチェックアウト(1名様限定)

料金 大人1名様22,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

夢泉景別荘 天原
《味覚の秋》
海老・蟹づくしコース

伊勢海老のアメリカヌソースを思わせる、濃厚なスープをクリームでまろやかに仕上げたビュッフェをはじめ、松茸と足赤海老の天婦羅、すまし・鱈お汁しゃぶ鍋など、秋の味覚をメインダイニング旬房 淡悦(たんえつ)でこゆっくりとご堪能いただけます。

料金 大人1名様28,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

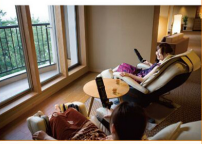
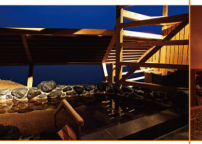
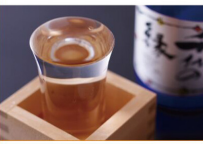
夢海遊 淡路島
グループ旅行に
お勧め！
特別レートプラン

幹事さん必見！三世目の家族旅行や社員旅行、友の会や同士のグループ旅行など、大切な季節、よりリーズナブルな特別レートで気軽に淡路島の山海の幸と温泉をお楽しみください。4名様以上のご予約で嬉しい特典付き！

特典1 温泉施設内お風呂の湯は嬉しいシャイス特典をご用意
【A】お楽しみメニュープレゼント
【B】お楽しみメニュープレゼント
【C】お楽しみメニュープレゼント
【D】お楽しみメニュープレゼント
お楽しみメニューは、お風呂利用時のご予約料金から別途お楽しみメニューの料金をご利用可

特典2
特典3

料金 大人1名様14,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



プラザ淡路島
淡路島3年とらふぐ美福鍋
淡路島の魅力がギュッとつまった
コラーゲンたっぷりのご当地鍋

淡路島3年とらふぐに淡路島レタス、さらに地酒や淡路瓦の醤油など、地元の素材にこだわった南淡路のご当地鍋「美福鍋」を味わうプラン。地酒を使った特製出汁には女性に嬉しいコラーゲンがたっぷりです。

特典 レイトチェックアウト11:00可能

料金 大人1名様18,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

海のホテル 島花
エステ付
ヒーリングプラン

都会の喧騒を忘れ、温泉リゾートでの一夜を自分へのご褒美に。3つの温泉を巡り2つの温泉を存分に楽しみ、エステとの相乗効果で身体の内側から美しく、夕涼みは量を控えめにしたシェフお任せの「カフェ飯」をお召し上がりいただけます。

特典1 エステ45分付
特典2 カフェオンリ予約付
特典3 カフェオンリ予約付

料金 大人1名様16,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

渚の荘 花季
大切な日を
花季で過ごす記念日プラン
～Nazuna～

大切な記念日を想い出に残る一日に。1年に1度しかない誕生日、還暦のお祝い、そしてご夫婦の結婚記念日…。さまざまなシチュエーションが人生の折々で訪れるお客様「特別な日」をいつまでも心に残る日へと華やかに彩ります。

特典 ◆お風呂付サービス
◆カフェオンリ予約付サービス
◆お楽しみメニュープレゼント
◆お楽しみメニュープレゼント

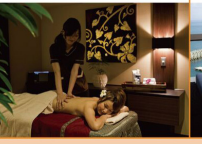
料金 大人1名様15,000円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)

あわじ浜離宮
【平日限定・カップルステイ】
二人だけの時間が流れる浜辺の離宮
～Akaneiro～

悠久の時間が流れる浜辺で静かに寄り添う。二人お部屋のガラスで、感じはソファで交すとりとめもない話。ゆらゆらと連なるガラスの泡に心あられて、ただ二人だけの時間。瀬戸内の海に浮かぶ淡路島へ二人旅。日常から離れた時間の流れを感じていただけますように。

特典 ◆お楽しみメニューサービス
◆お二人の記念日サービス
◆お楽しみメニュープレゼント
◆お楽しみメニュープレゼント

料金 大人1名様18,500円～(税込、税別)
内容 2食付(夕食・朝食)



早割 30
早めの計画で
ちょっぴりお得に
お出掛けしましょ

宿泊料と朝食を合わせたお早割プランをご用意しております。ご予約は早めにお申し込みください。

ホテルニューアワジグループ “シャトルバス”
美しい自然に包まれた淡路島。ホテルニューアワジグループでは淡路島の8つのホテルをルートバスで結びました。バスセンターへの移動、各グループホテルへのご移動にお気軽にご利用ください。

日帰りカジュアルプラン
(ランチ&温泉)

お得な温泉プランをご用意しております。

【ホテルニューアワジグループの温泉プラン】

夢海遊 淡路島、夢泉景別荘 天原、海ののホテル 島花、あわじ浜離宮、渚の荘 花季、プラザ淡路島

ホテルニューアワジ
TEL.0799[23]2200
〒656-0023 兵庫県洲本市小路台20
FAX.0799-23-1200
http://www.newawaji.com/

淡路夢泉景
TEL.0799[22]0035
〒656-0023 兵庫県洲本市小路台
1052-2/FAX.0799-24-0035
http://www.yumesenkei.com/

夢泉景別荘 天原
TEL.0799[23]0335
〒656-0023 兵庫県洲本市小路台
1052-2/FAX.0799-24-0035
http://www.yumesenkei.com/amahara/

海ののホテル 島花
TEL.0799[24]3800
〒656-0023 兵庫県洲本市小路台
1277-5/FAX.0799-24-0021
http://www.shimhana.com/

渚の荘 花季
TEL.0799[23]0080
〒656-0023 兵庫県洲本市小路台
1051-16/FAX.0799-23-0083
http://www.awaji-hangoyomi.com/

夢海遊 淡路島
TEL.0799[22]0203
〒656-0024 兵庫県洲本市山手1-15-0
FAX.0799-22-5207
http://www.yumekaiyu.com/

プラザ淡路島
TEL.0799[55]2500
〒656-0542 兵庫県南あわじ市
南沢取上1433-2/FAX.0799-55-2505
http://www.plazawajishima.com/

あわじ浜離宮
TEL.0799[36]3111
〒656-0304 兵庫県南あわじ市松崎古津路
970-81/FAX.0799-36-3113
http://www.awajihamariky.com/

神戸ベシエラトンホテル&タワース
TEL.078[857]7000
〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区
海岸中2-13/FAX.078-857-7001
http://www.sheraton-kobe.co.jp/

琴平花壇
TEL.0877[75]3232
〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町
1241-16/FAX.0877-75-3235
http://www.kotohira-kadan.jp/

ホテルへのアクセス

Hotel New Awaji Group

ご予約・お問合せ
ホテルニューアワジグループ予約センター

TEL.0799 [22] 2521

http://www.newawaji-hotels.com

HotelNewAwaji

HotelNewAwaji



上記プランはすべて2名以上での予約となります。1名参加の参加料は別途です。曜日・時期により料金は変動いたします。消費税・入浴料は別途。ホテルニューアワジグループは本業観光以外にさまざまなプランをご用意しております。詳しくは各公式サイトページをご覧ください。掲載プランは都合により変更になる場合がございます。写真の一部はイメージです。